

宅を作り続ける工務店に対して、川上から川中の関係者が連携して優良材を提供する取組がみられる。また、需要者のニーズに合わせて付加価値の高い内外装や家具などを製造する取組等もみられる<sup>74</sup>。

林野庁は、このような地場競争力を強化するため、平角、柱角など多品目の製品を生産する取組や、地域の素材生産業者、製材工場、工務店等の関係者の連携による、付加価値の高い製品の企画・開発・プロモーションの取組等を支援している。

### 事例Ⅲ－6 地域の関係者が連携した乾燥材の高付加価値化の取組

木材市場等を営む肥後木材株式会社(熊本県熊本市)は、住宅建設等においてニーズが高まっている人工乾燥材(KD材)の取扱い拡大に向け、乾燥・加工設備として、蒸気式高温乾燥機を8基、自動棧積設備、モルダー<sup>注1</sup>ライン等を整備し、令和7(2025)年3月から乾燥加工事業を開始している。

同社では、熊本県内の多くの中小製材工場が、敷地や人員、投資等の問題で乾燥設備を整備又は増設できないという現状を踏まえ、これらの工場の事業継続にも寄与するため、県内の製材工場5社と協定を締結している。5社は表面加工等を施さずにグリーン材<sup>注2</sup>を安定的に供給し、乾燥・仕上げと販売は肥後木材が行うなど、安定した品質のKD材生産に取り組んでいる。

令和7(2025)年10月時点において月間1,000m<sup>3</sup>までKD材の生産規模を拡大しており、稼働から3年目の令和9(2027)年度には、乾燥機8基を用いて月間約1,200m<sup>3</sup>の生産を目指している。また、令和8(2026)年度中にJAS機械等級区分認定を取得し、強度等の品質・性能の確かなJAS製材として供給を開始する予定としている。

注1：一度の工程で複数面を同時加工することにより木材の寸法を整え、表面を平滑に仕上げる機械。

注2：乾燥処理が施されていない木材。



木材乾燥施設



人工乾燥材(KD材)

### (品質・性能の確かな製品の供給)

現在、木材の新たな需要先として期待されている中大規模建築物は、設計時に構造計算が必要であるほか、小規模な木造建築物においても、令和7(2025)年4月の改正建築基準法の施行に伴い、構造関係の審査が必須となる範囲が拡大(延べ面積200m<sup>2</sup>以下の平屋以外全て)されたことなどから、強度等の品質・性能の確かな部材としてのJAS構造材の供給が重要となっている(事例Ⅲ－7)。

<sup>74</sup> 地場競争力の強化に関する取組については、「令和3年度森林及び林業の動向」特集2第3節(1)34-36ページを参照。